

優秀賞

## メタ茶室

藤城 礼（修士1年：東京都）

「茶道」という言葉から貴方はどのようなイメージを受けますか。「敷居が高い、堅苦しい」などでしょうか。少し茶道に触れたことのある方なら、茶道は教室に通って作法を覚えていき、年に数度「お茶会」を催したり出向いたりするものと心得ているかもしれません。しかし、よくよく考えてみると、茶道にはもっと沢山の側面があります。例えば茶道に関わる文化を考えると、庭 / 建築 / 着物 / 陶芸 / 工芸 / 書 / 花 / 香 / 懐石料理 / 菓子 / 文学など、幅広い日本文化が含まれていることが分かります。茶道は禅の思想も取り入れているので、自分に向き合うという側面もあります。また、自分の美意識に基づいた空間に、気心の知れた客人を招いて、主客が共に茶会をつくりあげる一期一会を大事にするという側面もあります。このような芸術文化との繋がりや、創意・敬意に満ちた交流といった側面は、現実には資源的な要因から多くの茶道修習者にとって実践は難しく、点前の手順を覚えることなど表面的な部分に終止してしまいがちです。

さて、今回提案するゲーム「メタ茶室」は、VR空間に各人の理想の茶室を作り上げるものです。昨今、コロナ禍によるオンライン空間利用促進の気運が高まり、人々がその中で生活し交流するメタバースの開発や、欧米の美術館を中心とする所蔵品の3Dスキャンデータの公開などが進みました。それに伴い、今まで金銭的 / 物理的に難しかった、空間や美術品の所有・編集が、仮想空間において可能となっています。「メタ茶室」では、自分好みのレイアウトや仕上げの部屋を作ったうえで、美術館や作家、個人が制作公開した茶道具や花などの3Dデータを、自分の美意識に則り設えていき、その中で稽古の復習をしたり、仕事の合間に休憩したり、遠く離れた友人を呼んで交流を楽しむことができます。現代に通用する価値を持ちながら、アクセスしにくかった茶道という文化を、現代生活の中で活かしていく提案です。